

アルケミスト「夢を旅した少年」

パウロ・コエーリョ

半飼いの少年サンチャゴは、その夜もまた同じ夢を見た。一週間前にも見た、ピラミッドに宝物が隠されているという夢——。少年は夢を信じ、飼っていた羊たちを売り、ひとりエジプトに向かって旅にでる。

アンダルシアの平原を出て、砂漠を越え、不思議な老人や錬金術師の導きと、さまざまな出会いと別れをとおり、少年は人生の知恵を学んでいく。

「前兆に従うこと」「心の声を聞くこと」「何かを強く望めば宇宙のすべてが協力して実現するように助けられること」——。

長い旅のあと、ようやくたどり着いたピラミッドで、少年を待ち受けていたものは——。人生の本当に大切なものを教えてくれる愛と勇気の物語。